八雲町郷土資料館農機類標本台帳

一般名称: 2頭曳互用プラウ	現地の通称:

資料種別: ◉ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ○ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類:
- ☐ 人力用具 ☐ 手押式 ☒ 耕耘用 ☐ 調製用
- ☒ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類
- ☐ 原動機具 ☒ 牽引式 ☐ 管理用 ☐ 機素
- ☐ トラクタ具 ☐ 定置式 ☐ 収穫用 ☐ その他

管理プレートNo.

台帳No. Y004

相手先番号等

統一分類記号

製作者・会社: 推定:官営札幌製作所(または民営札幌器械製作所)　製造市・国名

製造年_購入年,標本収集年 推定1779-83年に導入、利用、資料館発足に当たって収蔵された

使用目的・使用方法等

耕起用、互用再墾プラウでカードY053-054のプラウの解説を参照。また、標本プラウの製造経過は「Y003」参照。互用再墾プラウは、当時「傾斜地用プラウ：Hillside Plow」とも呼び、傾斜した畑で一方向に反転する機種であったが、1980年代から平坦の畑地(往復耕によって耕起跡も平坦に仕上がり、その後の砕土整地作業が容易になる)でも利用するようになり、最早「傾斜地用」と言えなくなった。

製造者名などの本体記載事項は発見できず。

利用経過収集記録意義等

プラウの利用経過等は「Y003」参照。
ビーム・ハンドルは、老朽化や破損して自作されたものと推定する。また、グレビス部は他のプラウから流用したものであろう。

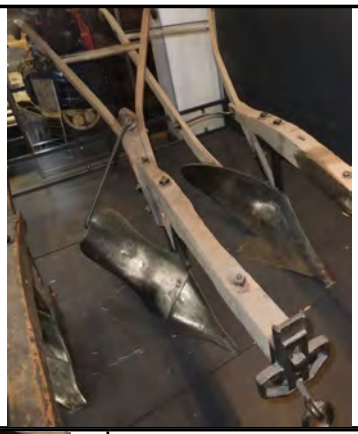
仕様書_解説等

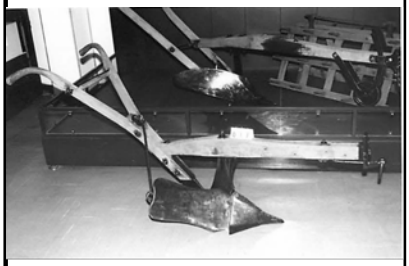
形態：炭素鋼ボトム＋木ビーム、下方を回す方式の左右反転互用プラウ
刃幅ｘ連数：330mm、13’ ｘ1連

全体図写真1：現在の展示状況、2：1985年調査時の写真。

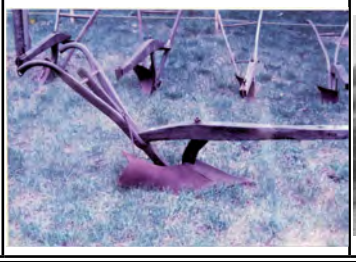
関連写真1：ボトム後部、2：クレビス取付け部、3：同型の札幌農学校標本、4：同型の開拓使麻布官園作業風景(これは輸入品)

右に全体図





外観特色関連図等



資料の所在 公開展示室

資料追記事項

資料管理経過

作業メモ追記文

農業機械学会北海道支部「農機DB作成委員会編